

学校教育目標

笑顔で

かしこく

たくましく

上谷の丘

～ 本当の笑顔と学びがある学校を ～

坂戸市立上谷小学校 学校だより

令和3年 7月 20日 NO. 9

文責 校長 柴崎 利美

児童数183名(7月20日現在)

明日から「夏休み」



～ 何事も笑顔で始まり、笑顔で終わりましょう ～

このところ様々な分野のキャッチコピーで「笑顔」という言葉を目にします。いいことだと思いますが、「巧言令色鮮し仁(こうげんれいしよくすくなしじん)」→《「論語」学而から》…巧みな言葉を用い、表情をとりつくろって人に気に入られようとする者には、仁の心が欠けている。…に陥らないよう相互に気をつけたい所です。1学期は上谷っ子たちも先生方もよく笑い、活気のある日が多かったと感じています。これは先生方だけではない、上谷っ子を各家庭で支えている保護者の皆様のおかげであると思います。本当にありがとうございました。もっと「笑顔」「本当の笑顔」「お腹の底から笑える(うことができる)」に近づくためにどうすればいいのだろうと考えることがあります。いくつか簡単に挙げると①嘘をつかない。②約束を守る。③人のせいにししない。④やってあげられることは、やってあげる(親が先回りして子どもが決めるべきことを決めてしまうは×)。⑤感動した時、くやしい時は大いに泣く。ことだと思います。「なんだそんなことか」と思うかもしれませんが、なんとも難しいことです。正直に生活していれば、疑念が生じない。疑心暗鬼にならない=安心できる関係=笑うことへの敷居が下がる。このことは「だまされた方が悪い」とか「ウソの文化」とは違う日本人の美德に通ずることだと思います。そんなことを実体験できる夏休みになることを願っています。

終業式のお話 (抜粋)

～まず、夏休みで一番大事な事をお話します。それは「毎日無事に過ごす事」です。「なーんだ。そんなことか。」と思う上谷っ子がいると思います。けれども夏休みはお友だちが、それぞれ違った場所で違った過ごし方をします。全員が学校にいないということです。遠くへ出かけることもあるでしょう。心配なのは出かけた先でのケガや事故なのです。例えば、交通事故。出かけた先は近所の道路・自動車とは様子が違うということです。行方不明。行方不明とはお父さんお母さんとはぐれてしまったり、だれか知らない人にさらわれることです。そして、台風や洪水。上谷小の近くは2年前に大変な水害に見舞われました。十分注意



してください。お家の人の話をよく聞き、万一、最後は自分で自分の身を護ることがあるかもしれません。二つ目は「本を読むこと」です。みなさんは「もっと勉強ができるようになりたいなあ」と思ったり、「もっとカッコイヒトになりたいなあ」と思ったりしますね。とてもいいことです。それに

はどうするか。教科書や問題集で勉強することも大事ですが、一番いいことは「本を読むこと」です。それも、これと決めた本を「夢中になって」読むことです。これからは、本をたくさん読んだ子がAIに負けないでたくましく生きて行く時代になります。コンピューターや人工知能も本をたくさん読んだ子にはかなわないのです。さかろん読書手帳の発表、2学期も期待しています。最後に、夏休み中は1日1回善いことをしましょう。一行日記や絵

日記が課題で出ている学年があると思います。どんなことでも、あなたが「善いこと」だと思って、したことを書いて下さい。どんな小さなことでもいいです。例えば「誰もいない部屋の電気を消しました。」でもいいです。毎日同じことでもいいです。「〇〇しました。」が毎日書ければ100点です。

できるようになるためのヒント ～自己決定力と自己肯定感～

自分で決めること（選択力）の重要性は、以前にも何度か取り上げました。前述④（親が先回りして子どもが決めるべきことを決めてしまう）がどうしてもやってしまいがちなミスですが、これが常態化すると子どもは自分で考えなくなります。「お父さんお母さんがやってくれるからいいや。」と。しかしながら親にも言い分があって、つまり「時間がない」「もう仕事に行かねばならない」等です。子供もそれが無意識に分かっているのかもしれませんが、「僕・私より仕事なんだ…」と感ずるかもしれません。そして親はこう思う「絶対そんなことはない」と。これは悪循環で早めに断ち切る必要があります。小さい頃からどんな小さい事でも自分で決めさせ、安心して失敗させることが大事です。そんな小さな積み重ねを自信に変えている子は強い。自己肯定感が強い。「自分は〇〇が得意・××が苦手」が経験上わかっている。そこをスタートに自分で再チャレンジできる。注意してほしいのは、親が決めてやらせたことを、安心して失敗させることではないことです。



「ソクラテスの問答法・3つの台詞」というのがあります。これから子供に自己決定の場面を作って行く上で大事な台詞です。A「どうしたの？困ってることある？」B「ああそういうことか。それで、どうしたいの？」C「私に手伝えることある？」この繰り返しです。子供は最後には自己決定に持っていかなざるを得ない。これは普通の会話から、学習の場面、教育相談的な場面で使えると思われそうですが、急にはできないと思います。上手く伝わらなかったり、根くらべになったりすると思いますが、先に親が「こうだ」と言わないだけでも子供は考えると思います。

PTA資源回収について



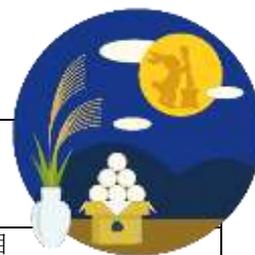
来月8月8日（日）に資源回収を行います。今回は地区で回収方法が異なります。詳細はPTAより配布される案内を見てください。ご協力よろしく申し上げます。

9月の行事予定

【生活目標】相手の顔を見てあいさつをしよう

〇ていねいな言葉づかいで話そう

1日（水）委員会	16日（木）5年宿泊学習 1日目
2日（木）修学旅行説明会（6年）16：00	17日（金）5年宿泊学習 2日目
3日（金）避難訓練	22日（水）クラブ
4日（土）坂戸市科学振興展覧会（勝呂小）	24日（金）普5 学校指導訪問
6日（月）一斉下校	27日（月）一斉下校
8日（水）meiji 出前授業（全学年）クラブ	29日（水）水4 就学時健康診断（13：05下校）
13日（月）一斉下校 教育相談日	30日（木）3年校外学習



*10、20、30日はノーゲーム・ノーテレビ・ノースマホデー *9月の給食費引き落としは6日（月）15日（水）です。

*コロナの感染状況により予定が変更になる場合があります。

*夏季休業中に万一PCR検査（児童・保護者）を受けた場合、結果の如何に関わらずその時点で学校（日直対応）に連絡をお願いします。連絡体制は「登校日と同様」とお考え下さい。